

# 決算の細部までチェック

委員会での審議の概要をお伝えします。

## 公共交通

### 地域公共交通会議

3万5000円  
委員報酬

**問** 地域公共交通会議では今後のバスの運行に関する話題は出たのか。高齢者の中には買い物に行けない方や通院に不便を来している方もいる。どのような進め方で町内の交通網の整備を考えていくのか。

**復興企画課** 地域公共交通会議は、旅客の利便性を向上させるため、地域の実情に応じたバス、タクシー運行の対応、運賃、料金および事業計画等について地方公共団体が主催者となって地域の関係者による合意形成を図る場として位置づけられている。昨年度は1度実施され、会長の選出、町の公共交通に関する

テーマ、地域公共交通網形成計画と今後の進め方について協議した。本年度は住民アンケートや事業者ヒアリング調査、住民懇談会を実施し、年内に網形成計画案を作成したいと考えている。その後、パブリックコメントを実施し、31年2月末までに網形成計画の策定をしたいと考えている。

**問** これからアンケート等を行い住民が困っていることを把握しながら進めてもらいたい。住民は通院時の足の確保を切実な問題としている。患者輸送バスをどのように進めていくのか。

**復興企画課** 方向性とすればバス事業者の採算が取れるところは残し、それ以外のところは町民バス、あるいはコミュニティバス等を走らせて町民の利便性を確保していきたいと検討している。



患者輸送バスなど今後の地域公共交通の検討を

## 社会福祉

### 地域支え合い体制づくり事業委託料

4682万円

**問** この事業の内容は。また、間木戸地区で支え合いをやっていると聞くが、この事業に含まれるのか。含まれる場合、今後も継続していくのか。

**長寿福祉課** 仮設住宅に

いる要介護高齢者、障がい者等の生活を支援するための事業であり大きく3つある。1つ目に総合相談の実施で、仮設住宅の談話室等で相談を受け付けるもの。2つ目に地域交流事業の実施で、談話室等を利用してコミュニティづくりを支援するもの。3つ目にデイサロンという事業で、高齢者が集まって体操等の活動を行えるようにするもの。その中には支え合いの事業も含まれている。今後の展開としては、仮設住宅の収束を考慮しつつ、来年度もデイサロンについては継続し、仮設

のサポートについては規模を縮小して継続する。そのあとの展開だが、デイサロンについては介護予防に資する事業ということで介護予防日常生活支援総合事業の中で展開できないかどうか検討している。

**問** 間木戸地区でのサービスの評判が良く、ぜひ続けてもらいたいという声を聞く。さまざまな制度を利用し、ぜひ継続してもらいたい。

**長寿福祉課** 間木戸のデイサロンは来年度までは継続する。それ以降については介護会計の地域支援事業で実施できればと考えていたが、予算規模のこともあり、もう一度検討が必要と感じている。本年度からどういう形で継続できるかということを検討していきたい。



間木戸地区のサポート拠点「ほっとサポートセンター山田」